

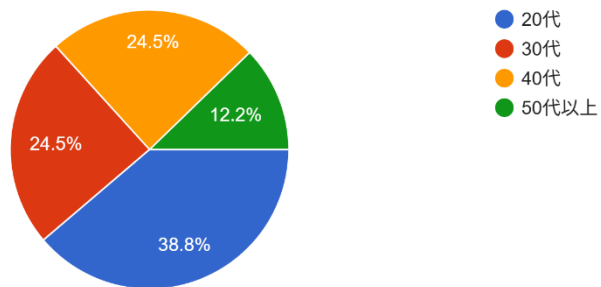
令和 8 年度愛臨技一般検査研究班 7 月研究会アンケート

開催日：2026 年 7 月 12 日（日）9：30 ～ 14：30

開催地：修文大学

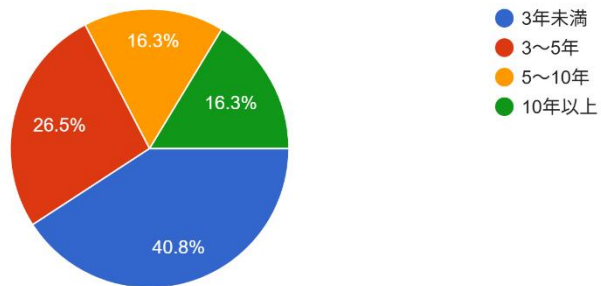
1. 年代について

49 件の回答

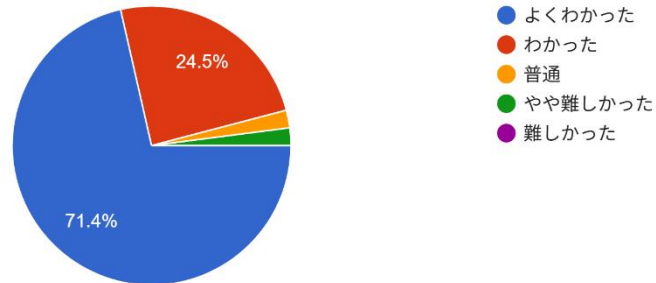


2. 一般検査経験年数

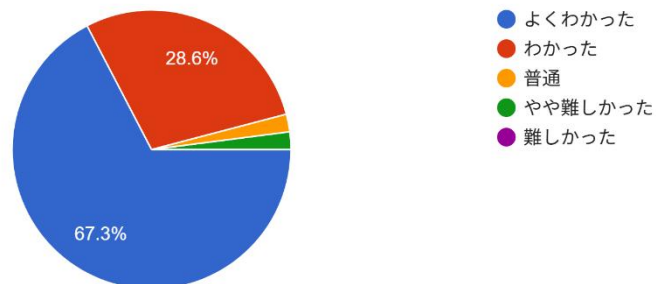
49 件の回答



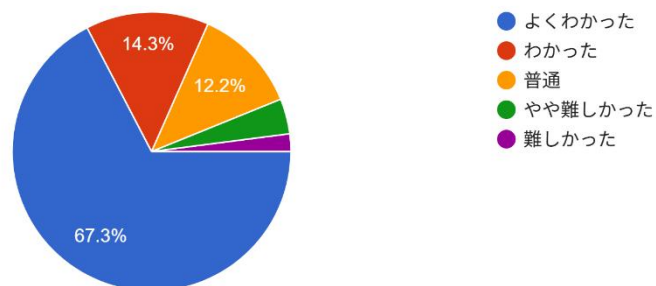
3. 講演1 「尿沈渣を正しく鑑別するための検査方法」はいかがでしたか
49 件の回答



4. 講演2 「鑑別のツボを押さえよう」はいかがでしたか
49 件の回答

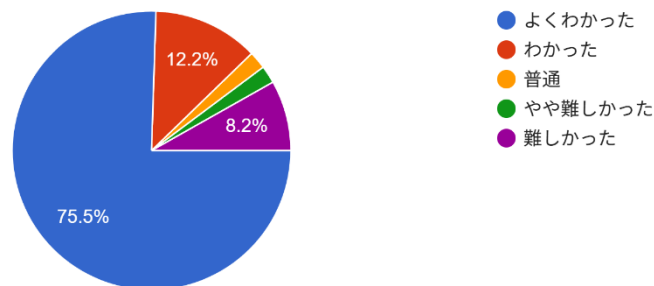


5. 講演3 「尿沈査でこの成分は見落とすな！！」はいかがでしたか
49 件の回答



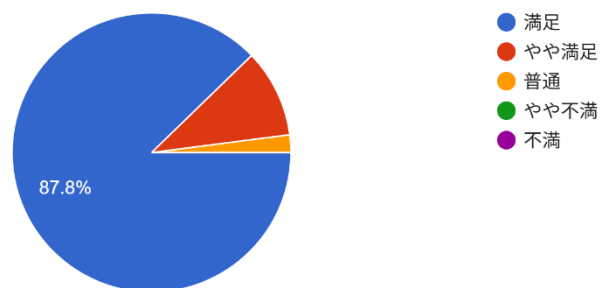
6. 講演4「参加型スライドカンファレンス」はいかがでしたか

49 件の回答



7. 研修会全体を通して満足のいく内容でしたか？

49 件の回答



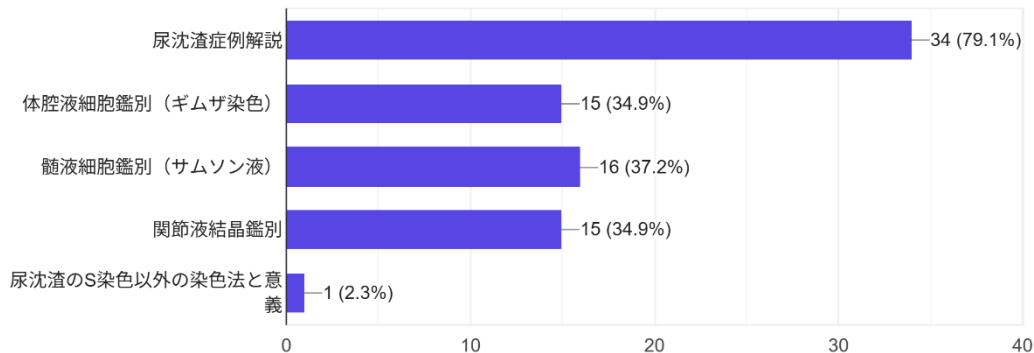
8. 今後取り上げてほしい講演内容があれば教えてください（自由記入）

- 結晶の対処法や見分け方
- 結晶成分
- 定性検査の解釈について
- 腎炎の診断と治療
- 症例
- 鑑別が難しい結晶成分、異型細胞の鑑別
- 上皮の鑑別が日常業務でも難しく、また数年後でもいいので行なってほしいです
- スラカン毎年やっていただきたい

➤ 次回研究会の講演内容として検討させていただきます。

9. 基礎講座で鏡検指導を受けたい内容があれば教えてください

43 件の回答



10. 自由記入（感想や質問など）

- スライドカンファレンスが良かったです。

リン酸塩で見にくい時、酢酸で溶かした際、赤血球は溶血でわからなくなったりしないのか知りたいです。

- ご質問ありがとうございます。酢酸でリン酸塩を溶解すると赤血球も溶血されます。塩類だけを溶解して鏡検したい場合は次のような方法で対応しています。尿酸塩の場合は、沈渣に 10mL の生理食塩水を添加してよく混和した後に再度遠心して沈渣を作製。リン酸塩の場合は、EDTA 加採血管に生理食塩水を加えて作製した溶液を沈渣に添加してよく混和し、再度遠心して沈渣を作製します。これにより、多くの塩類が消失して鏡検がしやすくなると思います。ただし、元の検体と性状が変わるため、沈渣成分全てが同じように見えない可能性があります。しかし、見落としなどを防ぐには有用な方法として使用可能だと考えます。

（文責：愛臨技一般検査研究班）

- もし聞き逃していたら申し訳ないのですが、赤血球が多く沈渣を読むのが困難な場合、サムソン液を入れると良いとのことでしたが、どのような割合でいれているか教えてほしいです。

- ご質問ありがとうございます。今回のスライドで提示されていた白血球鑑別を目的としたサムソン液の割合は 1 : 1 で作製していました。酢酸やサムソン液を使用して確認する場合の割合は特に指定はありません。酢酸の割合が多くなれば、それだけ赤血球は溶血しやすくなり、白血球の核も裸核化しやすくなると思います。この方法は白血球の核を裸核化して、観察しやすくすることを目的としているため、標本中の鑑別に悩む成分が、白血球か否かを

わかりやすくするために使用するものと考えています。是非ご施設でもお試しいただいて、感想を研修会等で教えてください。

（文責：愛臨技一般検査研究班）

- 理解が深まりました
- 迅速に結果報告しなければならない規則があるのでじっくり観察できない(30 分以内)他の施設はどのぐらいで報告してますか

当院は 1 人で一般検査しています

➤ ご質問ありがとうございます。鏡検の所要時間は施設の規模や検体数、技師数、自動分析装置の利用などの条件によって異なることが考えられます。重要なポイントとしては「臨床的に意義の高い成分を見落とさない」ことが大切だと思います。おそらくご質問いただいた内容はすべての検体ではないが、鑑別に苦慮する成分が検出されているケースなどではないでしょうか。そういった場合は臨床に時間を有している理由をお伝えして最終結果をお待ちいただくなどご相談されてはいかがでしょうか。また、どうしても報告しなければならないようであれば、後から再度確認して、結果が変わるようならば再報告することも重要だと思います（その場合、結晶など経時的に析出しやすくなるなどの数が変わる成分もあるので注意が必要です）。

11 月の基礎講座では鏡検のコツなどもベテランの一般検査技師に質問することもできます。また、今回の講演のように鑑別のコツや手法を聞くことができるので是非参加をご検討ください。

（文責：愛臨技一般検査研究班）

- 尿細管上皮細胞を鑑別することをステップ 1 として考えていく、勉強になりました
- 新人ですが、どの講義をとっても丁寧にわかりやすい解説をしていただき充実した勉強会になりました。先生方ありがとうございました。
- 日常業務でわからないことやモヤモヤしていたことが学べてとてもためになる勉強会でした！
- 尿細管上皮の見方について、大変勉強になりました。
- S 染色のみで検査を行っているので、色んな染色法があってとても興味深かったです。また、上皮細胞の鑑別が苦手だったので、とても勉強になりました。
- ありがとうございます
- ベテランの先生方の経験を交えた鑑別方法などとても有益な情報が盛り沢山の研究会でした。開催いただきありがとうございます。
- 学生の時の記憶すらなくて、一から勉強しようと思った。貴重な時間だった。
- わかりやすい講演ありがとうございます
- とても勉強になりました。

- どの講演も明日からの業務に活かせる内容で、とても分かりやすかったです。スライドカンファレンスでは、鑑別に悩むことの多い上皮細胞の見方を学べて良かったです。
 - 画像判別はいつも苦慮していたので、今回の解説をもとにもっと研鑽をしていきたいと思いました。
 - とても有意義な講演でした。
 - 講演の写真もすべてではなくても配布してもらえると、フィードバックしやすいと思いました。
- 今回は事前資料配布という形で対応させていただきましたが、講師によっては画像提供ができない施設もあるため、すべての講演に対してご対応できない場合もございます。申し訳ございませんが、ご配慮いただけますと幸いです。

たくさんのご感想いただきありがとうございます。また、温かいお言葉も多く頂戴し感謝いたします。今後も皆様の日々の一般検査業務に有益な情報が提供できるように企画運営していきたいと考えています。

今後の研究会においても、皆様の多数のご参加お待ちしております。

愛臨技一般検査研究班 一同